

新しい市役所本庁舎の整備に関する個別意見聴取結果

枚方市 市駅周辺まち活性化部

〇ご意見の聴取にご協力いただいた対象者等

	① 高齢者	② 障害者	③ 子育て世帯	④ 外国人	⑤ LGBTQ+の支援者
目的	高齢者の視点や、バリアフリーの観点からのニーズ把握	バリアフリーの観点からのニーズ把握	子育て世帯のニーズ把握	外国人のニーズ把握	性の多様性の観点からのニーズ把握
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ●枚方市老人クラブ連合会 ●枚方市地域包括支援センターの職員(※) 	<ul style="list-style-type: none"> ●枚方市障害福祉サービス事業者連絡会 ●市立ひらかた子ども発達支援センター利用者の保護者、職員(※) 他、当事者・支援者団体:5団体 	<ul style="list-style-type: none"> ●「広場さぷり」の利用者、職員 	<ul style="list-style-type: none"> ●枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」の学習者及び教室スタッフ(※) 	<ul style="list-style-type: none"> ●支援団体

※一部、対面形式ではなく、調査票（紙）やWebフォームでのご意見聴取を行いました。

○主なご意見

	① 高齢者	②-1 障害者(身体障害者)
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の建て替えが必要。 ・分散している部署を集約すべき。 ・空間がある施設にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある利用者の目線で考えてほしい。 ・分かりやすい動線にしてほしい。 ・音声での案内が有効。 ・フロアレイアウトは階毎に変わらない方が良い(トイレやエレベーターの配置が同じなど)。 ・誘導ブロックの色は黄色が基本であるが、設計段階などで、動線も含めて、再度意見を聴いてほしい。 ・おしゃれな造りより、わかりやすさを優先してほしい。
窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT化で対応できるようにして市役所まで行かなくても済むようにしてほしい。 ・高齢・介護・障害などの関連する窓口は、ワンストップ対応ができるなど、集約してほしい。 ・高齢者の窓口は、1階にしてほしい。 ・手続きなどがスムーズにでき、待ち時間を少なくしてほしい。 ・一般窓口と事業者用窓口を分けてほしい。 ・利用者の多い手続きの窓口を、待たなくて良いように増やしてほしい。 ・大きな声で話すため、マイクや集音器の設置や待合スペースとの適切な距離など、プライバシーに配慮してほしい。 ・ゆっくりと手続きができる高齢者用の窓口を設置してほしい。 ・窓口の高さを低くしてほしい。(車いす用など) ・書類記入の際に支援してほしい。 ・発券機の操作方法(どこを押せば良いのか)を分かりやすくしてほしい。 ・音声アナウンスやフードコートなどにあるようなお知らせブザーなどがほしい。 ・各窓口の課名や手続きの説明などを高齢者の目線(低め)に表示してほしい。 ・案内をしてくれるコンシェルジュがほしい。 ・AIも活用する等、待たされない窓口にしてほしい。 ・高齢者に関する全ての手続きを地域包括支援センターからできるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす利用者に対応した窓口を各窓口にも1つは設置してほしい。(広さや高さ、足の奥行など) ・車いす利用者の動線を考えて、入口から近いなどアプローチしやすい場所に、車いす窓口を設置してほしい。 ・入口から、まずは総合受付へ誘導してほしい。 ・障害者の窓口等は低層階に1フロアで集約してほしい。 ・プライバシーに配慮してほしい。(窓口間の距離は適度に保ってほしい) ・相談については、対面の窓口が必要。(コミュニケーションに支障のある人は対面を望む人がいる) ・各窓口が発券機がある場合には、それぞれに誘導ブロックがあっても混乱するので、コンシェルジュを配置してほしい。

		① 高齢者	②-1 障害者(身体障害者)
設備 関係	昇降設備	<p>(エレベーターについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターの扉や内寸を大きくしてほしい。 ・エレベーターの内外に分かりやすい案内の掲示がほしい。 ・ボタンについては、使いやすい高さや大きさ、読みやすさ、触感で分かるようにしてほしい。 ・車いす、高齢者優先など、表記や台数を確保するなどして、待ち時間が少なくなるようにしてほしい。 ・エレベーター内に音声案内がほしい。(「ドアが閉まります」や「〇階です」など) ・乗降りがしやすいように背面鏡の設置や前後両扉にしてほしい。 ・エレベーター内に手すりや椅子がほしい。 ・扉の開閉速度をゆっくりにしてほしい。 ・用事のある階を教えてくれるエレベーターコンシェルジュがいたら良い。 <p>(エスカレーターについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻き込まれ防止機能は必須。 ・乗り降りしやすいスピードにしてほしい。 ・明るくしてほしい。 ・降りる際にフラットとなる面を3段くらい取ると降りやすい。 ・遠目から見て、上りか下りか分かるようにしてほしい。 ・要らないと思う。危険なので、なるべくエレベーターを選ぶ。 ・あると便利と思う。 ・広いステップが良い。 ・シルバーカーが乗れるほどの広いステップ幅がほしい。 ・ステップ毎に色を変えるなど、ステップの境目を分かりやすくしてほしい。 ・緊急停止ボタンをわかりやすく表示してほしい。 ・乗る際にお手伝いができるエスカレーターコンシェルジュがいたら良い。 ・エスカレーターを利用する際に、用事のある階がどこか分かりやすく表示してほしい。 ・音声案内がほしい。(「上りです」「下りです」など) 	<p>(エレベーターについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できれば全て、法令等より大きなかごのエレベーターがよい。(乗れるエレベーターが限られたり、点検時に乗れない時がある) ・ストレッチャーが入る大きさを確保してほしい。 ・扉が端まで開くタイプにしてほしい。(車いすが端に寄れ、迷惑にならないため) ・エレベーターのボタンは、触ると凹凸で、階数、開閉が分かるようなものにしてほしい。 ・音声案内が必要。 <p>(エスカレーターについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声案内が必要。 ・場所がわかるように音声案内と点字ブロックでの誘導があれば利用したい。 <p>(階段について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段のステップを黄色で囲んでもらえると見えやすく段差もわかりやすい。

		① 高齢者	②-1 障害者(身体障害者)
設備 関係	通路 ・フロア	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者や車いす、電動カートが安全に通行(すれ違える)できる広さがほしい。 段差なくフラットに、滑りにくくしてほしい。 通路面に矢印などで、目的地を分かりやすく案内してほしい。 座って休める、待てるスペースを作してほしい。(車いすや歩行器等を置いても邪魔にならない) 椅子は、立ち座りしやすい工夫をしてほしい。(高め、肘掛、背もたれ等) 手すりがほしい。 足元を明るくしてほしい。適度な明るさにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> シックな雰囲気を出すために照明を暗くするなどは、やめてほしい。 照明は昼白色が見やすい。
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 介助が必要な方や歩行器使用の方が使用しやすい広さが必要。(シルバーカーや車いすも入れる) 多目的トイレは複数ほしい。 洗面台は低いものも必要。(腰やひざが曲がってくるので) 洗面台に椅子がほしい。 便座は高めが良い。(立ち上がりやすい) ボタンを含む各表示は明確に分かるようにしてほしい。 手すりを設置してほしい。 分かりやすい案内板を設置してほしい。 トイレのマークは分かりやすい表示をしてほしい。(色分けなど) オストメイト対応のトイレがあった方が良い。 目に付くところに荷物置きがほしい。 個室も広くしてほしい。 個室が使用中の時、明確に分かるようにしてほしい。(通常の赤・青では見づらい) センサー式の洗浄ボタンは使いづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> トイレまでの通路などが狭い場合、車いすでL字に移動するのは中々難しい。法令等より広い幅がほしい。 車いす利用者を想定しているトイレの扉は「開」「閉」ボタン又はセンサーで自動開閉できるものがよい。 多目的トイレで「どなたでもご利用いただけます」と表示されているものがあるので、優先的に車いす利用者が使えないことがある。 車いすより大きいシニアカーでも利用できるスペースがほしい。 多目的トイレとオストメイトを別に設置してほしい。(オストメイトなど見た目で見えが分からないためトラブルになることがある) オストメイトのみであれば、あまりスペースはとらないので、通常のトイレスペースにオストメイト設備があってもよい。 オストメイトを利用することを他者に知られたくない者もいるため、利用者が選択できるようにしてほしい。 多目的でないトイレも少し広くしてほしい。(一部介助の方なら多目的でなくても対応できる) 大人用のベッドがある多目的トイレがほしい。(寝ころばないと着替えができない方もいる) トイレ入り口付近には音声案内がほしい。 多目的トイレは、外(アクセスしやすい場所)に設置してほしい。 異性ガイドの場合、男女別のトイレには入りづらいため、男女共用があった方が良い。 各ボタンには点字を付けてほしい。 トイレの中にも点字ブロックを設置してほしい。

		① 高齢者	②-1 障害者(身体障害者)
設備 関係	案内サイン	<ul style="list-style-type: none"> 大きな文字ではっきりと分かりやすい表示をしてほしい。 床面にも誘導サインをしてほしい。 低い目線でも見やすい高さに表示してほしい。(高齢者の目線は下方向になるため) 音声による案内をしてほしい。 AI やロボットによる誘導などを取り入れてほしい。 入口で、スマホ等で行先を読み込めば窓口まで誘導するサービスがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声案内がほしい。(うるさいなどの意見が出ないように、箇所や音の強弱について配慮が必要)
	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場から館内までをできるだけ近く、バリアフリー対応にしてほしい。 身障者用区画から館内までは屋根がほしい。 身障者用区画は複数台必要。 身障者用区画に高齢者も止められるようにしてほしい。 分かりやすい表示(色の工夫)をしてほしい。 高齢者にはバスを使ってほしいので、バスで来庁した場合のメリットがあれば良い。 QRコード決済など、多様な支払方法を採用してほしい。 支払いを館内でできるようにしてほしい。 駐車区画を多く、広く取ってほしい。 窓口で長くなった際に、駐車料金の配慮がほしい。 料金体制は現状のままにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 身障者駐車区画は幅を広くしてほしい。 国際シンボルマーク以外のおもいやり区画なども設置してほしい。(内部障害などの見ただけで障害が分からない利用者がトラブルになることがある) 思いやり駐車区画の視認性を高めてほしい。 駐車区画を広くしてほしい。 ホテルのように建物の出入り口が雨のかからない車寄せがあれば便利。
附帯施設		<ul style="list-style-type: none"> 市を見渡せるような展望機能が屋上にほしい。 展望レストランを設置してほしい。 食堂や軽食がとれるコンビニ、売店、カフェがほしい。 交流スペースがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者団体が物販できるようなスペースを常設してほしい。
その他		<ul style="list-style-type: none"> シンボルとなるような市役所としてほしい。 軽食ができる椅子やテーブルのあるスペースがほしい。 給水設備がほしい。 休憩スペースに、フレイル(健康な状態と要介護状態の中間の段階)予防や地域事業などの動画を流したり、チラシを置いてほしい。 点在して休憩できるスペースを確保してほしい。 ICTなどを活用して、業務の効率化を図ってほしい。 	—

	②-2 障害者(知的障害者)	②-3 障害者(精神障害者)	②-4 障害者 (障害児や発達上支援が必要な子ども)
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎への動線はできるだけシンプルにしてほしい。(市駅からの直線性やバス運用など) ・バリアフリーに対応した庁舎としてほしい。 ・おしゃれな造りより、わかりやすさを優先してほしい。 ・明るい雰囲気の方が行きやすい。 ・市役所だとわかる外観であれば行きやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーに対応した庁舎としてほしい。 	—
窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な手続きはワンフロアで完結したい。(複数の移動がしんどい者もいる) ・知的障害でもできることにかなり差があるので、選択肢を増やしておいてほしい。(例えば、予約: ネット予約と窓口での番号発券、リモートと対面など) ・待ち時間が分かるシステム(順番が近づけばスマホに通知があったり、フードコートなどであるようにお知らせブザーなど)がほしい。(待つことがしんどい者もいる。待ち時間がわかれば一旦落ち着ける場所にいることができる) ・介助者なども並んで座ることができる窓口にしてほしい。 ・窓口からは執務室内の様子は見えない方がよい。(窓口から執務スペース内の職員が多数いる様子が見えることで興奮したり、職員の机の飲み物などに興味を示し執務室内に乗り込みたくなることもある) 	<ul style="list-style-type: none"> ・対面对応でしか雰囲気や細かい表情、実態が伝わらないことがあるので、対面での相談窓口は必要。 ・ガラパゴス携帯の利用者が多く、物理的にリモート対応できないため、手続きについても対面の窓口が必要。 ・人が集まるところは緊張状態が続き、パニックにもなりやすいので、行くことを躊躇することがある。相談窓口は個室や人があまり来ない場所がよい。 ・精神疾患に関しては、医療と福祉相談を切り離すことができない。保健所と福祉両方に相談することもあるため、ワンストップで相談できるように連携してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーカーが並んで入れる広さがほしい。 ・高さを変えられる椅子がほしい。(子どもを膝に乗せたときに対応できるような) ・隣の声が聞こえないようにしてほしい。(声が気になる) ・障害関係の部署は新庁舎でも1階にまとめてほしい。 ・手続きに関連する部署をワンフロアに配置してほしい。 ・クールダウンの個室で、手続きできるようにしてほしい。 ・待ち時間が分かるシステム(順番が近づけばスマホに通知があったり、フードコートなどであるようにお知らせブザーなど)がほしい。 ・窓口のアナウンス(「〇〇番でお待ちの方、窓口へお越しください」など)は子どもが怖がらないような音色(柔らかい音)や、音量(大きすぎない)とするよう配慮してほしい。 ・窓口付近にキッズスペース(音が出る絵本やおもちゃ、動画が流れるモニターなど)がほしい。(集中してくれる) ・キッズスペースには、子どもが寝ころぶクッションフロアなどがあれば良い。(全介助の子どもは、ベビーカーと体の間に熱が籠る。少しの間でも寝ころぶことで楽になる) ・キッズスペースにおもちゃを置かないでほしい。(子どもが離れ無くなることもある) ・子ども関係の部署があるフロアには自動販売機を置かないでほしい。(子どもが離れ無くなることもある)

		②-2 障害者(知的障害者)	②-3 障害者(精神障害者)	②-4 障害者 (障害児や発達上支援が必要な子ども)
設備 関係	昇降設備	<ul style="list-style-type: none"> エレベーターそのものを怖がったり、エレベーターに複数の方がいるのが辛い人もいます。 エスカレーターを利用できる人もいますので、移動手段の選択肢が多い方が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> パニック障害の中にはエレベーターがしんどい方がいます。エスカレーターなど移動手段の選択肢が多い方が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者優先のエレベーターを設置してほしい。(人が多くて乗れないことが多々ある) エレベーターの内寸を、バリアフリー基準よりも大きくしてほしい。 エレベーターには、鏡を付けてほしい。(鏡を見ながらバックで降りることが多い) 長くてもスロープがあれば利用する。
	通路 ・フロア	<ul style="list-style-type: none"> 通路は、車いす同士がすれ違うことができる幅を確保してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 通路は、車いす同士がすれ違うことができる幅を確保してほしい。 通路にも手すりがほしい。 癲癇(てんかん)持ちの方は突然倒れる可能性があるため、倒れた際に2次被害(机の角で頭を打つなど)がないような作りをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ベビーカー同士がすれ違うことができる幅を確保してほしい。 待合スペースに、子どもが使える什器等の様々な種類がほしい。
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> トイレは複雑な動線を通ることのないようにしてほしい。(例えば、どのフロアにも両端にあるなど、シンプルな配置が良い) 異性の介助者の場合、男女別トイレに入れないため、多目的トイレは複数ほしい。 多目的トイレの中にさらに個室を設けたものがあれば助かる。(異性の介助者がトイレを利用する際、はぐれることがある。2重に施錠ができるトイレがあればうれしい) 	<ul style="list-style-type: none"> 多目的トイレでまとめるのではなく、車いす、オストメイトなど用途別に分けてほしい。 トイレは一般的なトイレでも良いが、広い方が良い。狭くて人との距離が近いと利用しにくい人がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多目的トイレは、フロア毎にほしい。少なくとも、障害や子ども関係が配置されるフロアには必ずほしい。

		②-2 障害者(知的障害者)	②-3 障害者(精神障害者)	②-4 障害者 (障害児や発達上支援が必要な子ども)
設備 関係	ベビーケ ア	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・おむつ交換に使うユニバーサルベッドは体の大きさに合わせて選べるように大人用も併設してもらいたい。(子どものおむつ交換台の大きさでは足りないことが多い) ・子どもが立ったままおむつ交換ができるスペースがほしい。 ・おむつ交換や授乳できるスペースなどをまとめて個室にする必要はない。空間として、仕切られていればそれでよい。 ・授乳スペースと併設でおむつ替えスペースを設けてほしい。(授乳時におむつを交換する場面もよくある) ・個室では無く、複数の机や椅子などがあり男性も利用できるスペースがほしい。 ・おむつ交換室や授乳室などには男性でも利用できるようにしてほしい。 ・おむつを捨てる自動圧縮のゴミ箱を設置してほしい。
設備関 係	案内サイ ン	<ul style="list-style-type: none"> ・床面に色分けした矢印での案内はわかりやすい。(単純にその色に沿っていけば目的地にたどり着ける) ・手続きの目的毎の色分けやイラストなどで、直感的に見て分かるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の入り口で、行先が分かるようにしてほしい。 ・案内サインはわかりやすいものがある。人により気持ちが高ぶる色は異なるが、それを気遣うと際限がないと思う。 ・学習障害者に多いのが、文字の明朝体が分かりづらい。UDゴシック体などユニバーサルデザインを意識した書体を用いてほしい。(サインに限らず) 	—
	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすの利用状況をしっかり把握して、適切な車いす利用者用の区画数を確保してほしい。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場を広く、曲がりやすいレイアウトにするなど工夫をしてほしい。 ・駐車区画を広くしてほしい。(ベビーカーを降ろしやすくしてほしい) ・立体駐車場になれば、屋根があるので助かる。

	②-2 障害者(知的障害者)	②-3 障害者(精神障害者)	②-4 障害者 (障害児や発達上支援が必要な子ども)
附帯施設	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者が働くことができる食堂や喫茶店があれば良い。 ・障害者が作成したものを売ったり、展示したりできるスペースがあれば良い。(障害者も市役所に顔を出しやすい。また、自分たちが作成した物が売れることがうれしい) ・コンビニやお昼などを食べることができるスペースがほしい。(外に出なくても、庁舎内である程度のことのできるようにしてほしい) ・落ち着かせることができる個室がほしい。(急に大きな声を出してしまうため連れていくことを躊躇してしまうこともある。クールダウンできる個室で手続きなどができれば負担が少なく、家族も連れていきやすい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・突然しんどくなり横になりたいことがある。その時に横になってしばらく休める静かな場所などがあれば、安心できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンを出来る個室スペースがほしい。(パニックが起こった際に親としても周囲の目を気にせずに対応でき、逃げ場にもなるので安心する)
その他	—	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内で精神障害者がしんどくなった時にケアできる体制がほしい。 ・支援団体では、働く場として弁当作りと配送をしている。配送の際には、動線が分かりやすい方が助かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが怖がらない雰囲気(明るさ・広さ)がほしい。(薄暗くて子どもが行けない時がある) ・BGMを流してほしい。(音が無いと子どもが怖がる事もある)

		③ 子育て世帯	④ 外国人	⑤ LGBTQ+の支援者
窓口		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て期間は忙しいので、手続きは市役所に行かなくても良いように、インターネットなどのできるようにしてほしい。 ・対面の場合は予約制を導入してほしい。 ・複数の手続きや相談が1つの窓口やワンフロアで完結できるようにしてほしい。 ・窓口対応時に目の届く範囲にキッズスペースなどを作ってほしい。 ・固定窓口だと目の届く範囲が限定されるので(まるっとこどもセンターのような)、職員がオープンスペースに移動した対応をするなどをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手続きなどの内容に関わらず、外国人が困ったときに最初に行く専用の窓口(コンシェルジュ)が必要。 ・外国人によっては、手続き毎に各窓口に行く(見つける)ことが困難な場合があるため、ワンストップで必要な手続きができれば良い。 ・窓口などで話す内容を、アプリなどで母国語表示ができれば便利。 ・市役所窓口は、対面手続き・相談が良い。(安心できる) ・市役所窓口は、オンライン手続きが良いが、リモートで手続き内容を確認できる体制も必要。(仕事で忙しくて窓口時間に行きにくい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・見かけで判断して「おかあさん」「おじいさん」という言い方をされる時がある。見た目や声で性別を判断しない意識を持ってもらいたい。
設備関係	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・おむつ替えベッドや子どもの着替え台(フィッティングボード)が女性用トイレにしかないところが多い。男性用トイレにも設置してほしい。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・「男女別」「多機能トイレ」「男女共用」など複数を設置することで、利用者ができるだけ多くの選択肢を持てることが大切。 ・「女性用」と「男女共用」のセットを複数配置すると良いと思う。 ・男女両方にサニタリーボックス的なものを用意するなどの配慮が必要。
	ベビーケア	<ul style="list-style-type: none"> ・授乳室やおむつ交換スペースなどについては、全ての機能が1室になってしまうと待ち時間が発生する可能性があるため、機能毎に分離してもらおう方がよい。 ・男性でも授乳できるようにしてほしい。 	—	—

		③ 子育て世帯	④ 外国人	⑤ LGBTQ+の支援者
設備 関係	案内サイン	—	<ul style="list-style-type: none"> ・文字ではなく、視覚的に分かるピクトグラムやイラストなどの案内があると良い。 ・枚方市は中国、ベトナム、韓国からの方が多く、英語表記のみでは分からない場合がある。 ・英語よりも簡単なひらがな表記の方が分かりやすい。 ・QRコードによる多言語対応があれば、読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性は青、女性は赤といったものより、「黒」が主流になりつつある。
	更衣室	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の更衣室を分けた上で、個室の着替えコーナー(内鍵付)の事例もある。
附帯施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる屋内施設があればよい。 ・一時預かり施設があればよい。 ・水槽など、動物が見ること(デジタルでも)ができればよい。 ・リーズナブルな食堂があればよい。 	—	—	—
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て関係が入るフロアには、小さな椅子やテーブルなどがあり、気軽に飲食ができるスペースがほしい。 ・子どもを連れて行くときは車になることが多いので、止めやすい駐車場が必要。 ・主な情報取得媒体はネットであるため、子育てや地域情報などもネットで取れるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャットなどを用いて、情報提供を積極的にできるシステム構築もあればよい。 ・市役所に関することのみならず、困り事を相談できる場所を官民連携するなど確保してほしい。 ・行政としてではなく、日常生活をするうえで外国人(当事者側)として必要な情報をしっかりと分かるように伝えてほしい。ゴミの出し方も大事だが、日本語ボランティアや、ハローワークなどの情報の方が当事者としては重要。 	—	—